



二俣川小だより

7月号

横浜市立二俣川小学校 令和元年6月25日

発行責任者 校長 池田 千晶



思考は現実化する

池田 千晶

6月1日の運動会は、天候にも恵まれ、子どもたちが力を出し切った一日でした。閉会式での子どもたちのやりきった誇らしげな表情がとても印象的でした。これは当日まで全力で取り組んできた子どもと職員の努力の成果です。そして保護者や地域の方々の温かい声援と、この日に向けて事前準備をしてくださったPTAの本部役員をはじめ、各委員のお手伝いの方々のお陰でもあります。心より感謝申し上げます。開会式では「夢中で全力を出してほしい。力を出し切ったあとに、新しい自分に出会えると思う」といった話をしました。運動会後の一日目の登校日に各教室を回って、力を出し切ったことを称える話をすると、どの子の顔もにこやかな誇らしげな表情を見せていました。子どもたちは、運動会への取組を通して培った力を自分なりに感じているのでしょう。その力を次のステージでどのように活かせるか、職員も作戦を練っているところです。



ナポレオン・ヒルは「思考は現実化する」といっています。彼の言う「考える」は、じっくり学習し、熟考し、計画するということを含む広い意味合いをもっています。そういえば、先週4年生が5校時に校庭で体育をして帰ってきたときに、すごく疲れていたようだったので、私は「6校時はちょっときついな。」と声をかけました。するとその子は「ううん、社会だから大丈夫。いっぱい考えて、話し合うのが好きなの。」と言うではありませんか。考えることの面白さを実感している子が育っているのだと嬉しくなりました。

土地は手入れをしないで放置しておくと雑草が生えて荒れてきます。ナポレオン・ヒルは、人の思考もそれと似ていて何もしないと不安を感じるようになっていて、放っておくと不安が広がってくるから、自分が望まないことは考えないようにするというのです。そして、どんな逆境の中にも、逆境と同等かそれ以上の利益の種子が含まれているというのです。考えたことが人をつくっていくのなら、起きた出来事を前向きに考えられるような発想の転換ができる子どもに育てていきたいと改めて思います。

今月も、子どもたちが良さを発揮できるよう、職員一同で取り組んでいきます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。